

川西町県有地活用基本計画の策定に関するご意見及び県の考え方

(意見募集期間：R8.2.24～R8.3.25、意見提出件数：2件/2人)

No	頁	該当箇所	意見内容	理由	県の考え方	修正後	修正前
1	4	基本構想（スポーツ振興・地域活性化に関する部分） バルセロナレジデンスアカデミー誘致及びスポーツ施設整備に関する記載箇所	本計画の方向性については理解しつつも、施設整備が特定の主体に偏ることなく、県民が広く利用できる環境となることが重要ではないかと考えます。 また、施設構成については、人工芝1面に加え、天然芝の練習用グラウンドおよび観客席を備えた天然芝グラウンドを組み合わせるなど、利用実態や大会開催への対応を踏まえたバランスの取れた整備が望ましいと考えます。	奈良県においては、天然芝グラウンドや観客席を備えた施設が不足しており、国民スポーツ大会や高校サッカー等の大会運営において課題があると感じております。 また、陸上競技場をサッカーで使用する状況も見られ、競技間での調整が必要となっている点についても、改善の余地があると考えます。 こうした状況を踏まえると、民間事業者との連携による整備においても、県民が広く利用できる基盤的な施設整備とあわせて進められることが望ましく、奈良県全体のスポーツ環境の向上につながる形での検討を期待しています。 なお、本計画の推進にあたっては、短期的な事業効果にとどまらず、奈良県全体の将来を見据えた持続的なスポーツ環境の整備となるよう、お願い申し上げます。	ご意見を参考にさせていただきます。		
2	24	調整池の面積は基本構想において「大和川地域調整池技術基準」に準じて検討した約0.7haとする。	調整池約0.7haと円状のありますが、深さが示されていないことや、今回の開発にあたって、十分な洪水対策を検討されているのかが疑問である。	平成25年、26年、29年の3回の台風時に川西町下永地区の水田が遊水地となり、住宅地の被害は何とか免れましたが、近年天理地区の開発等で当地区への雨水流入が相当増えているため、洪水被害が危惧される。	洪水対策については、令和8年度以降に実施する造成設計業務の中で詳細な検討を進めることとしており、検討の中でいただいた意見を参考にさせていただきます。		